

社団法人私立大学情報教育協会
平成21年度第4回CCC体育学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日 時： 平成 21 年 10 月 29 日(木) 午後 6 時 30 分～8 時 15 分
II. 場 所： 私情協事務局会議室
III. 出 席 者： 鈴木委員、手塚委員、田附委員
事務局： 井端事務局長、森下主幹、山野上

IV. 検討事項：

1. 学士力の確定について

前回策定した学士力（案）に対してサイバーFD 研究委員からの意見をもとに検討と修整を行なった。

（１）全般の意見について

一般教養としての体育で考えて寄せられた意見、グローバル化の観点で見て指摘されている意見がある。

一般教育の体育、専門教育を行なう学部 of 体育を明確にしないと混乱することから、今回の学士力（案）は体育を専門とする専門教育の学士力であることを明示することにした。

（２）到達目標について

サイバーFD 研究委員からの意見をもとに、項目ごとに検討を行ない以下の案をまとめた。

体育教育における学士力（案）

* ここでは、体育・スポーツ科学関連分野に専門教育の学習成果を整理した。

【到達目標】

- | |
|---------------------------------|
| 1. 身体運動による健康の維持増進の重要性を学術的に理解できる |
|---------------------------------|

【コアカリキュラムのイメージ】

スポーツ科学概論、健康科学概論、運動生理学など

【到達度】

- ① 身体運動による効果の重要性を理解している。
- ② 身体運動の効果（筋力、心肺機能、平衡性、体脂肪率、骨密度等）を数値的に把握し、変化を自己評価できる。
- ③ 他者の身体運動の効果を評価できる。

【到達度の測定方法】

①から③は、主に知識の理解と活用方法について、試験、レポートなどにより確認する。

【到達目標】

2. 身体運動の効果を体感することにより、心身ともに充実したライフスタイルを送ることができる

【コアカリキュラムのイメージ】

体育実技、スポーツ心理学、運動と健康、生涯スポーツ、スポーツとコミュニケーションなど

【到達度】

- ① 生活の中に運動を積極的に取り入れることができる。
- ② 運動により集中力を高め、それを持続できる。
- ③ 運動を取り入れることにより、ストレスをコントロールすることができる。
- ④ 運動を取り入れることにより、健康な体づくりに取り組むことができる。
- ⑤ 集団の中でスポーツや運動を通じて、周囲の人と協調し、意思決定を通じて一体感を得たり、自己実現を図ることができる。

【到達度の測定方法】

①から⑤は、試験、レポート、グループディスカッション、卒業研究などにより知識の理解度、活用力を確認する。

【到達目標】

3. スポーツ競技に関する知識・技能を習得し、スポーツの振興・普及に活用できる

【コアカリキュラムのイメージ】

コーチング論、スポーツ政策、スポーツ社会学、スポーツ史など

【到達度】

- ① スポーツ科学の専門知識を身につけ、競技力向上に取り組むことができる。
- ② 競技スポーツを社会の活性化との関わりで考えることができる。

【到達度の測定方法】

①と②は、試験、レポート、グループディスカッション、卒業研究などにより知識、技能、態度の習得を確認する。

以上